



総務文教常任委員会



平成25年度一般会計補正予算



厚狭地区複合施設整備事業



概 要

厚狭地区の山陽総合事務所、保健センター、公民館、図書館に体育館を加え複合施設として整備するもの。

総予算 13億8000万円

今年度予算額 2億4660万円

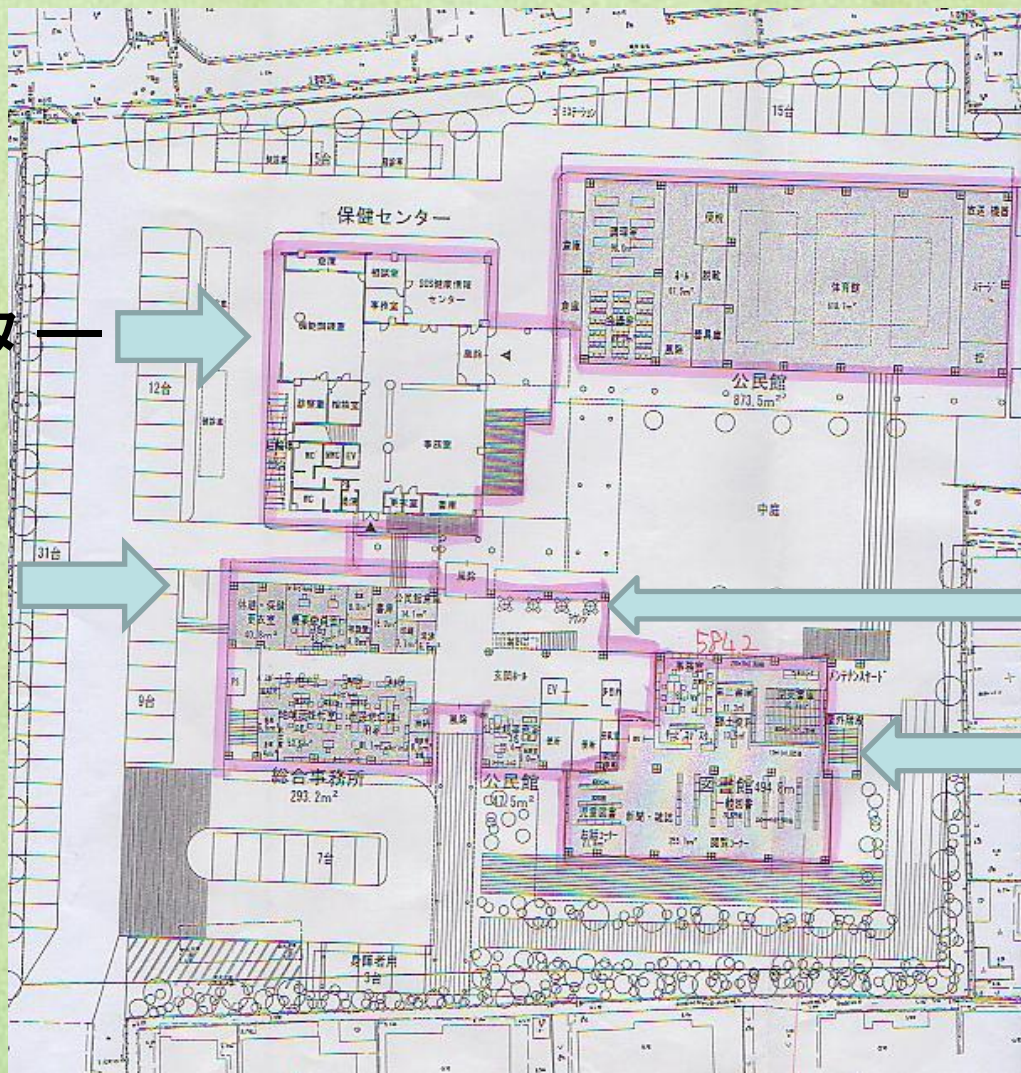
ワークショップの様子



公募を含む29名の市民の参加で複合施設のあり方について考えるワークショップを平成24年10月から平成25年1月まで計5回開催をしている。

基本設計

1 階部分



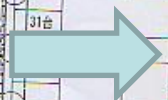
保健センター



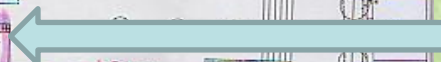
公民館
体育館



総合事務所



玄関ホール



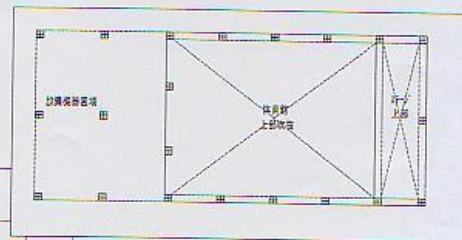
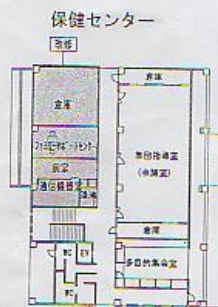
図書館



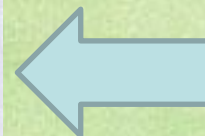
基本設計

2階部分

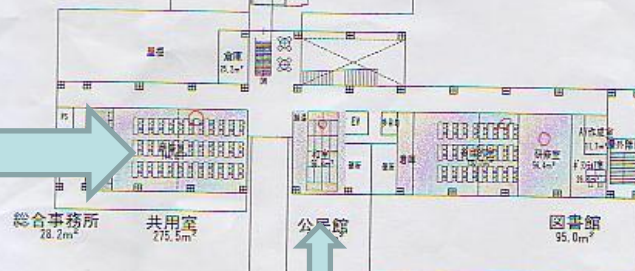
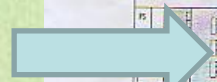
保健センター



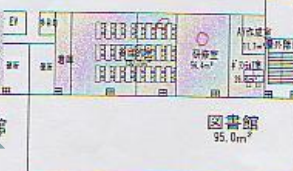
体育館



共用室



図書館



公民館



審査時の主な論点 ①

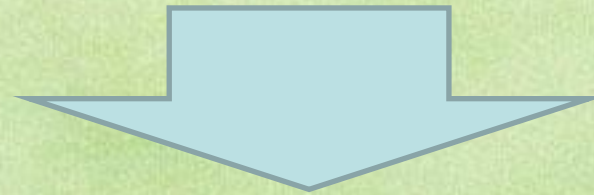
ワークショップにおいて市民合意が得られたか？



説明の仕方も不十分であり、うまくいったとは言えない。再度7月末までに報告会を開催する。

審査時の主な論点 ②

図書館のスペースが大幅に減少している。



現在の延べ床面積は約1150m²であり、複合施設では共用部分（477m²）を含んで約1011m²。



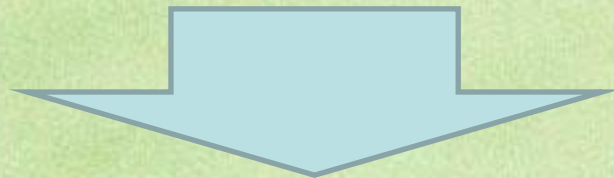
実質的に約半減している。実際に共用は可能なのか？

審査時の主な論点 ③

体育館に空調設備【エアコン】を設置すべきでは？



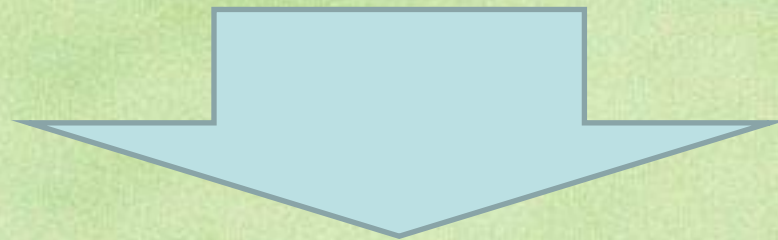
体育館なので必要ないと考えている。



体育目的以外の使用も多い。その際には空調が必要ではないのか。

審査時の主な論点 ④

予算の財源の一つである「中山間地域づくり総合支援事業補助金」4689万7千円は来年も申請ができるのか。



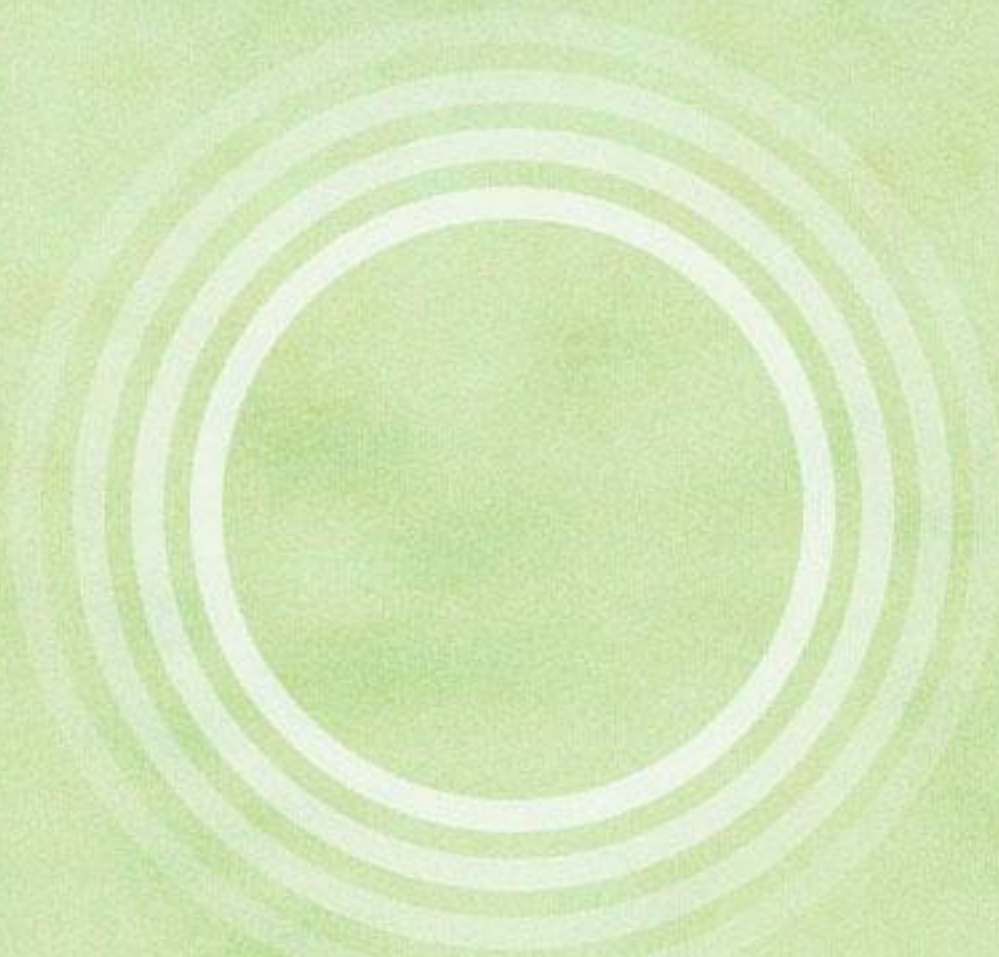
申請はできると思うが県と協議をすることになる。

結 果

市民協働型行政の一手法である「ワークショップ」での最終合意が得られていないため、委員会としては全額を予備費に回す修正案を **全員賛成で可決**



市は早急に計画の見直しや市民合意を図ることによって**予定どおりの工程が可能**になる。



民生福祉常任委員会

まち歩きガイドブック作成事業（120万円）

概要

- ・ まち歩きを通じて、本市の文化・歴史・自然の魅力を再発見。
- ・ 市ふるさとづくり協議会作成の「まち歩きプラン」をもとに編集する。



主な論点

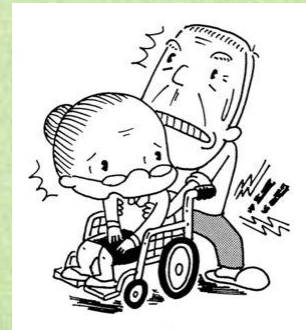
- ・ 全戸に配布するのか。
- ・ 今後、ガイドブックをどう活用していくのか。

例) 観光ボランティアの育成
ウォーキングなどの行事

高齢介護者実態把握事業（146万5000円）

概要

- ・ 高齢介護者の孤立化等の実態把握。
- ・ 65歳以上の2人世帯に対してアンケート調査を行う。



目的

- ・ 地域で孤立している高齢介護者の掘り起し。
- ・ 介護者の生の声を吸い上げて施策に生かす。
- ・ 共倒れや虐待のリスクの高い世帯に対して個別対応していく。

高齢消費者の二次被害防止モデル事業 (152万4000円)

概要

- ・ 悪質業者の情報提供や電話による注意喚起を行う。
- ・ 65歳以上の独居、75歳以上の高齢者が対象。



主な論点

- ・ 注意喚起や情報提供だけで被害が防止できるのか。
悪質業者は手を変え品を変えてくる。
消費者の方も学んでいく必要がある。

主な論点

- ・ 実態把握をした後、どのように介護者の支援をしていくのか。

福祉サービス
に関する情報
提供

地域包括支援
センターに
よる未然対応

介護者の負担
軽減策

地域の見守り・支えあい

可 決(全員賛成)